

私の仕事観

私がコーディネーターとして入社した2008年の「リーマン・ショック」と代表に就任した2011年の「東日本大震災」、2つの出来事採用の現場で経験したことは「人こそ財産」という信念を揺るぎないものになりました。

今、日本は労働人口の減少など様々な課題に直面しています。当社のビジネスを通じ人々の「希望の働き方」と「やりがい」が両立できる社会作りに貢献したい。AI化が進んでも「人こそ財産」と言える世界であることを願っています。

全ての人に「希望の働き方」と「やりがい」

の両立を。理想実現に果敢に挑む

最近思っていることあり

働き方改革に向けて法整備が進み、企業が目指すべき方向は見えてきました。改革実現には、企業、労働者、家族、全ての人々の「心の壁」を打ち破る必要があると痛感します。例えば、女性活躍推進。ワーキングマザーは働ける時間帯が合えば、やりがいは諦めるしかないと考え「壁」。男性の中にも「男性らしい働き方」という「壁」の前で希望の働き方を選択できずにいる方が多いように思えます。働くとは、管理職とは、社員とは、「マコ」あるべき」という見えない心の壁。既成概念から脱却し、多様な価値観の共存を目指す「覚悟」が理想を実現するために必要です。

Face of

●会社概要

試作品製造を展開する株式会社アドバンスの設計・製造関連のコンサルティング、エンジニア派遣を行う子会社としてスタート。グローバル化をにらみバイリンガル派遣にシフトし、現在は、外資系法律事務所、特許事務所、会計事務所、企業法務、金融・不動産などを中心に人材派遣、人材紹介、人事コンサルティング、人材教育支援などのサービスを展開。



株式会社アムルデザイン
代表取締役

古野 真由

ふるの まゆ

大学卒業後、教育事業に11年携わり、人材ビジネス業界に転身。2008年、アムルデザインに入社。コーディネーター職からキャリアを積み、2011年、同社の代表取締役に就任。「当社は、法律・特許分野を中心に人材サービスを提供していますが、法は人が共存するための知恵であり、特許は人がものを生み出す知恵。それを生業にする業種では、まさに人が財産。この業種に限らずAI化が加速しても人が財産である世界であることを願っています」。

未来に向かかって

今後人材業界が果たすべき役割にも変化が求められています。

育児と仕事との両立に苦闘する女性、情報過多でやりたいことが見えなくなりがちなる若年層、スキルがないから転職ができず、転職しなければ経験が積みぬい悩みを持つ人……様々な矛盾解決のため、求人企業との協力や教育業界、保育業界との連携を強化していくこと。求職者が「自らの人生のコンセプト」を考え「自分らしいワークライフ」の設計図を描くところからサポートしていくこと。「人が会社を作る」この動かぬ原則をもとに、多様な価値観が共存できる社会作りを貢献して参ります。